

ダム・発電所 見学バスツアー

長野駅から20分、新しい水力発電所と地下式発電所の見学！

-  **開催日** 2026年11月20日(金)
-  **見学場所** 湯の瀬いとおしき発電所・湯の瀬ダム、裾花発電所、裾花ダム
-  **見学行程** 集合場所 ① または ② に集合後、マイクロバス乗車にて見学場所へ移動
- ・ 集合場所 ① 長野駅東口(ユメリアバスパーク) 12:30 集合
 - ・ 集合場所 ② 長野市若里市民文化ホール 12:40 集合
- ※ 参加申込時に、集合場所を選択してください。(長野市若里市民文化ホールには駐車場があります。)

長野駅東口(ユメリアバスパーク)【集合場所 ① 12:30集合】==  ==

長野市若里市民文化ホール【集合場所 ② 12:40集合】==  ==

== ① 裾花ダム ==  == ② 裾花発電所 ==  == ③ 湯の瀬いとおしき発電所・湯の瀬ダム ==  ==

== 長野駅東口(ユメリアバスパーク)着 16:20頃 ==  == 長野市若里市民文化ホール着 16:30頃

※ 見学順 ①②③ は、変更する場合があります。長野市若里市民文化ホールにて、見学場所の概要説明を行います。



湯の瀬ダム・湯の瀬いとおしき発電所



裾花発電所(発電所内の水車展示、地下発電所へのトンネル)



裾花ダム

湯の瀬いとおしき発電所

湯の瀬ダムの放流水を活用した発電所。
2026年10月に運転開始した長野県企業局
で最も新しい発電所。

湯の瀬ダム

裾花川総合開発事業(治水・発電・上水道)で、
裾花ダム、裾花発電所とともに建設された
逆調整池用のダム。
裾花発電所で発電に使用した水をいったん
貯留し、発電放流量の変化を抑えるため、
水量を一定にして下流へ流す役割を担う。

裾花発電所

裾花川総合開発事業で、裾花ダム、湯の瀬
ダムとともに建設された。
裾花ダム直下にあるダム式の地下式発電所。
約280mのトンネルを下ると発電所がある。

裾花ダム

長野県建設部が管理するアーチ式コンク
リートダム。洪水調節・上水道・発電を目的
とする。

発電所	最大出力 kW	年間発電電力量 千kWh
湯の瀬いとおしき	860	3,000
裾 花	15,500	55,248
ダム	高さ m	総貯水容量量 千m ³
湯の瀬	18	330
裾 花	83	15,000

参加申込

NPO法人 信州水力発電開発活用センター

応募締切 11月13日(金)

募集人数 40名程度 (定員に達し次第終了します。お早めにお申し込みください。)



※ 2050ゼロカーボンに向けたプラスワンアクションとして、下記にご協力をお願いします。

・ 公共交通機関あるいはエコカー乗合せでのご参加

・ マイボトルの持参

主 催 NPO法人 信州水力発電開発活用センター <https://shinshu-suiryoku.org/>

後 援 長野県、長野県企業局、長野市、長野県市長会、長野県町村会、長野県経営者協会、長野県建設業協会、長野県電設業協会

※ この見学会は、「長野県地域発元気づくり支援金活用事業」です。

信州水の恵みの里づくり推進事業 ～水力発電を核とした自然エネルギーによる地域づくり～